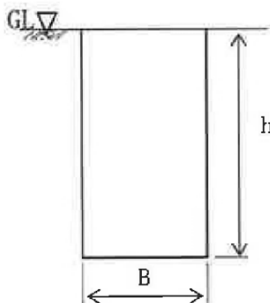
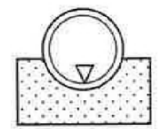
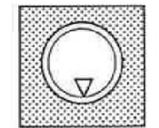
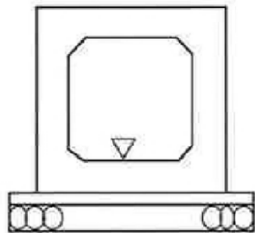
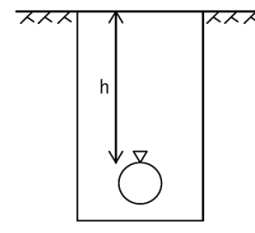
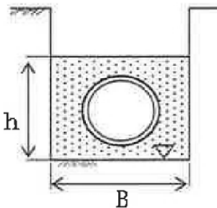
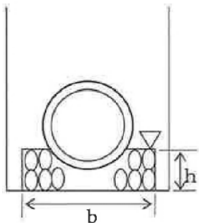


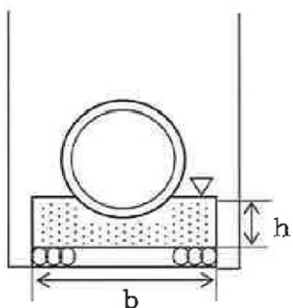
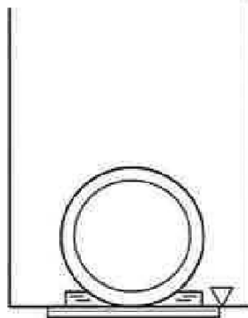
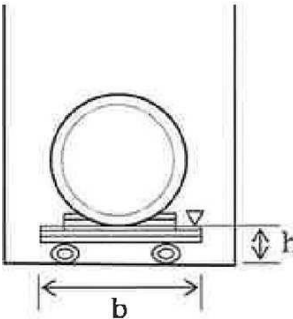
(管渠工事)

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
管路土工	管路堀削	深さ h	±30	マンホール間ごとに1箇所測定する。		
		幅 B	-50			
管布設工	管布設 (自然流下管)	基準高▽	±30	基準高，中心線の変位（水平）は，マンホール間の中央部及び両端部を測定する。	 	
		中心線の変位（水平）	±50			
		勾配	±20%			
		1布設延長L	L<20m -50 L≥20m -100	延長Lはマンホール間を測定する。		
		総延長	-100			

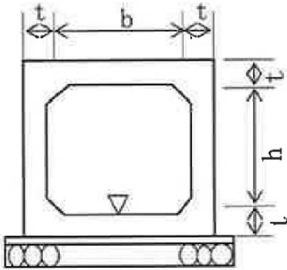
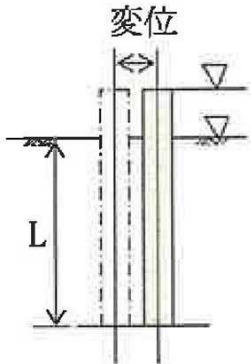
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
管 布 設 工	短形渠 (プレキャスト)	基準高▽	±30	基準高, 中心線の変位 (水平) は, 施工延長20mにつき1箇所の割合で 測定する。		
		中心線の変位 (水平)	±50			
		勾配	±20%			
		1布設延長L	L<20m -50 L≥20m -100	延長Lはマンホール間を測定する。		
		総延長	-100			
管 布 設 工	圧送管	土被り厚▽	±30	変化点 1 箇所の割合で測定する。		
		中心線の変位 (水平)	±50			
		総延長	-200			
管 基 礎 工	砂基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部 等を測定する。		
		幅B	-50			
		厚さ h	-30			
管 基 礎 工	碎石基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部 等を測定する。		
		幅b	-50			
		厚さ h	-30			

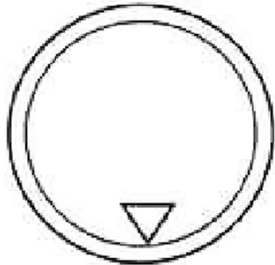
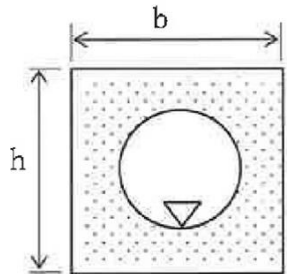
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
管基礎工	コンクリート基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部等を測定する。		
		幅b	-30			
		厚さh	-30			
管基礎工	まくら土台基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部等を測定する。		
管基礎工	はしご胴木基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部等を測定する。		
		幅b	-30			
		厚さh	-30			

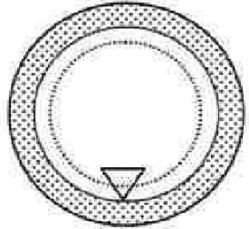
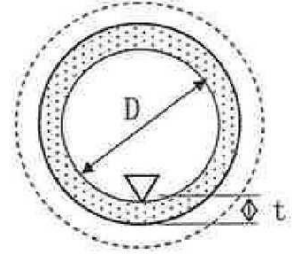
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
水路築造工	現場打水路	基準高▽	±30	基準高，中心線の変位(水平)，幅，高さ，厚さは，1打設長ごとに両端部を測定する。 1 打設長が20m以上の場合は，20mにつき 1 箇所の割合で測定する。		
		中心線の変位 (水平)	±50			
		幅b	-30			
		高さ h	±30			
		厚さ t	-20			
		勾配	±20%	延長Lはマンホール間を測定する。		
		延長L	L<20m -50 L≥20m -100			
		総延長	-100			
管路土留工	鋼矢板土留	基準高▽	±50	施工延長20mにつき 1 箇所測定する。20m未満は， 1 施工箇所につき 2 箇所測定する。		任意仮設の場合は除く
		根入長L	設計値以上			
		変位	100			

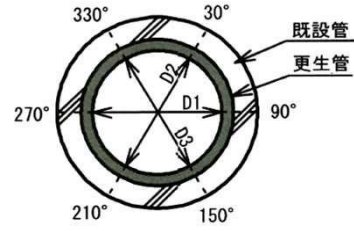
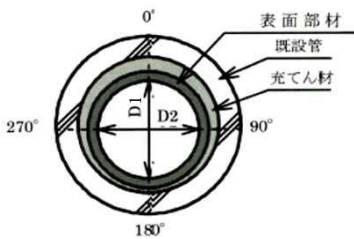
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
推進工	推進工	基準高▽	±50	基準高, 中心線の変位(水平)は, 推進管 1 本ごとに 1 箇所測定する。		
		中心線の変位 (水平)	±50			
		勾配	±20%			
		延長L	-50	延長Lはマンホール間を測定する。		
		総延長	-100			
立坑内管布設工	空伏工	基準高▽	±50	1 施工箇所ごとに測定する。		
		幅b	-30			
		厚さ h	-30			
		中心のずれ	±50			
		延長	-50			
		勾配	±20%			

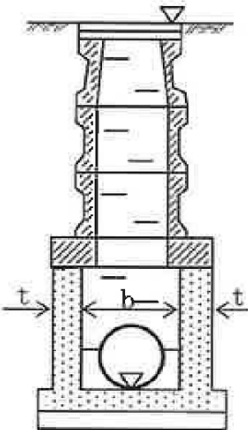
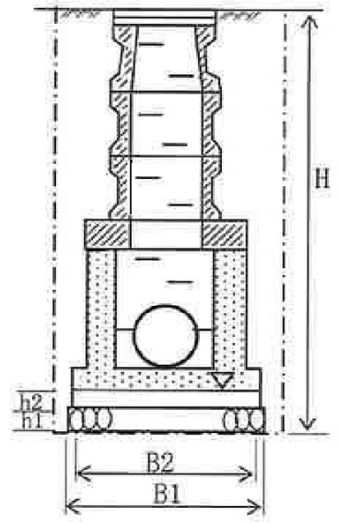
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
シールド工	一次覆工	基準高▽	±50	掘進中のシールド機の中心線の変位は、少なくとも1日1回又は、セグメント5リング程度ごとに測定する。 曲線部等は、適宜間隔を縮める。 基準高は、セグメントが安定した後、延長10リングにつき1箇所測定する。		
		中心線の変位 (水平)	±100			
		延長L	-50			
		総延長	-200			
シールド工	二次覆工	基準高▽	±50	基準高，中心線の変位(水平)，管径は，施工延長20mにつき1箇所測定する。		
		中心線の変位 (水平)	±30			
		二次覆工厚 t	-20	二次覆工厚は，1打設につき端面で上下左右4点を測定する。		
		仕上がり内径 D	±20	仕上がり内径は，施工延長20mにつき1箇所測定する。		
		勾配	±20%			
		延長L	-50	延長Lはマンホール間を測定する。		
		総延長	-200			

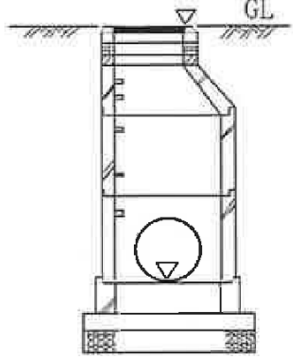
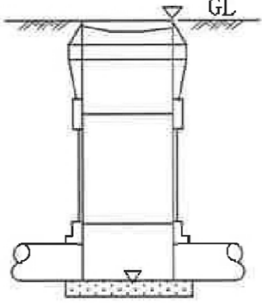
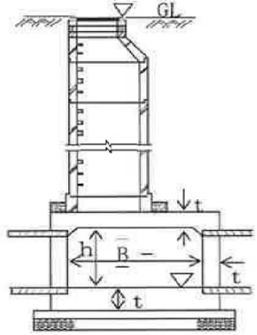
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
管きよ更生工	反転・形成工	仕上がり内径D	—	1スパンの上下流管口で測定する。		<p>最新版の「管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドライン」に準拠して実施する。</p>
		更生管厚	平均管厚が呼び厚さ+20%以内とし、最小値は呼び厚さ以上とする。	<p>それぞれ更生管円周上の6箇所測定する。</p> <p>内径測定時期は、硬化後24時間以降とする。</p> <p>更生管厚は、更生前と更生後に同方向での更生管きよの内径を測定し、結果を差し引くことで確認する。</p>		
	製管工	仕上がり内径 (高さ・幅)	平均内径が設計更生管径を下回らないこと	<p>1スパンの上下流管口で測定する。</p> <p>人が入って測定できる場合は、仕上がり内径について、1スパンの中間部付近でも1箇所以上測定する。</p> <p>それぞれ更生管の内側中央高さとの2箇所測定する。</p>		

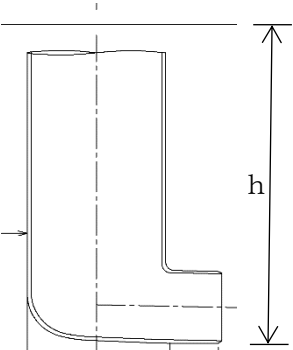
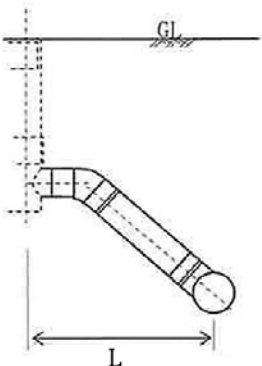
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
現場打ちマンホール工	現場打ちマンホール工	基準高▽	±30	1 施工箇所ごとに測定する。		
		幅 b (内法)	-30			
		壁厚 t	-20			
		人孔天端高	±30			
マンホール基礎工	マンホール基礎工	基準高▽	±30	1 施工箇所ごとに測定する。		
		床堀深 H	±30			
		基礎工幅 B1	-50			
		基礎工高 h1	-30			
		コンクリート工幅 B2	-30			
		コンクリート工幅 h2	-10			

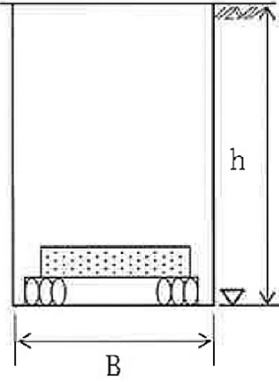
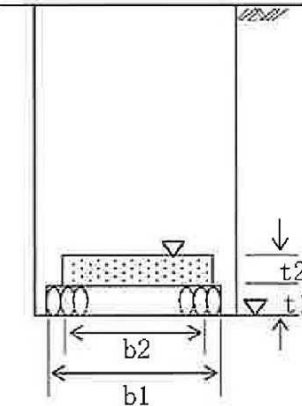
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
組立マンホール工	組立マンホール工	基準高▽	±30	1 施工箇所ごとに測定する。		
		人孔天端高	±30			
小型マンホール工	小型マンホール工	基準高▽	±30	1 施工箇所ごとに測定する。		
		人孔天端高	±30			
現場打特殊マンホール工	現場打ち特殊マンホール	基準高▽	±30	1 施工箇所ごとに測定する。		
		幅 B	-30			
		高さ h	±30			
		壁厚 t	-20			
		人孔天端高	±30			

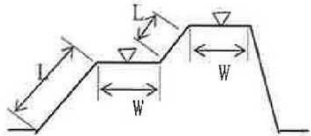
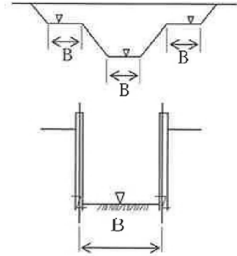
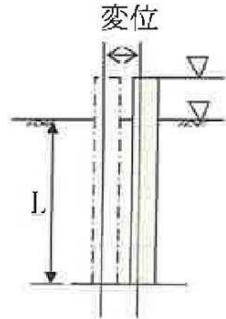
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
ます設置工	硬質塩化ビニル製ます	ます深 h	+30	1 施工箇所ごとに測定する。		
取付管布設工	取付管	延長 (L)	-200	1 施工箇所ごとに測定する。		

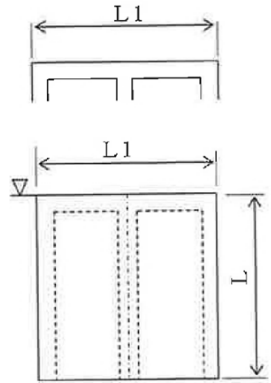
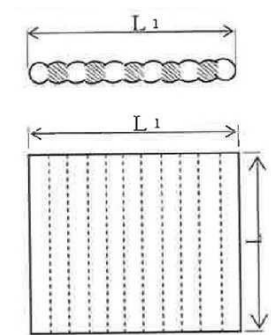
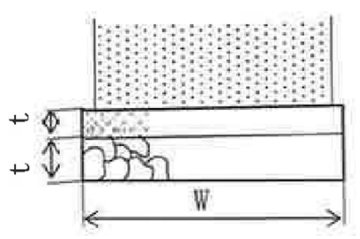
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
立坑工	立坑工	基準高▽	±30	1 施工箇所ごとに測定する。		
		寸法 B	±100			
		深さ h	±30			
立坑工	立坑土工	基準高▽	±30	1 施工箇所ごとに測定する。		
		砕石基礎幅b1	-50			
		砕石基礎厚t1	-30			
		底版コンクリート基準高	±30			
		底版コンクリート幅b2	-30			
		底版コンクリート厚t2	-10			

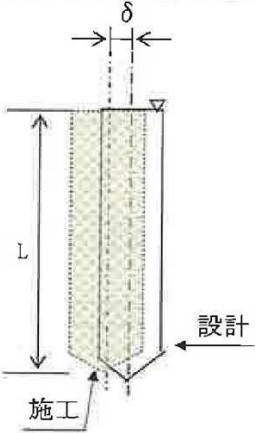
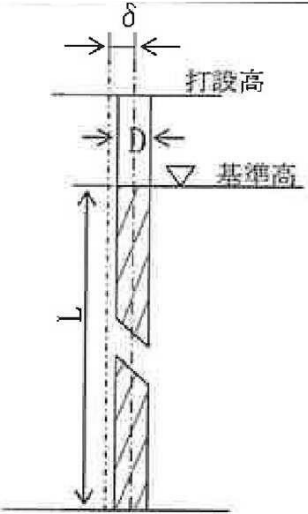
(処理場・ポンプ場工事)

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
法面整形工	盛土・切土	基準高▽	±50	施工延長おおむね40mごとに1箇所、40m未満は1施工箇所につき2箇所測定する。		
		幅 W	-100			
		法長L<5m	盛土：-100			
		法長L<5m	切土：-200			
		法長L≥5m	盛土：-2%			
		法長L≥5m	切土：-4%			
堀削工	土工（堀削）	基準高▽	±50	施工延長おおむね40m（小規模なものは20m）ごとに基準測線を設定し、基準高を10mごと、変化点ごとに測定する。		
		幅 B	-100			
土留・仮締切工	土留・仮締切工 (H鋼杭, 鋼矢板)	基準高▽	±50	施工延長20mにつき1箇所測定する。20m未満は、1施工箇所につき2箇所測定する。		任意仮設の場合は除く
		根入長 L	設計値以上			
		変位	100			

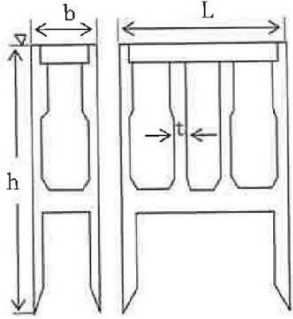
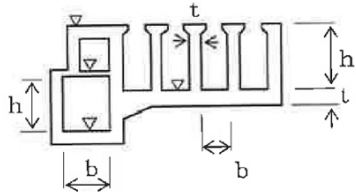
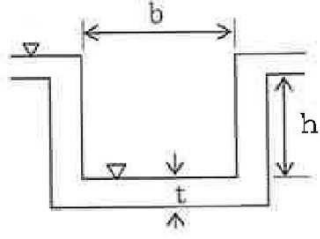
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
地中連続壁工	壁式	基準高▽	±50	基準高は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものについては1施工箇所につき2箇所測定する。		
		地中壁の長さ L1	-50			
		垂直変位	300			
		壁体長 L	-200			
地中連続壁工	柱列式	基準高▽	±50	基準高は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2箇所測定する。		
		地中壁の長さ L1	-50			
		垂直変位	D/4以内			
		壁体長 L	-200			
直接基礎工	構造物基礎	幅 W	設計値以上	施工延長20mにつき1箇所以上測定する。施工延長20m以下は、1施工箇所につき2箇所測定する。		
		厚さ t	設計値以上			
		延長	各構造物の規格値による			

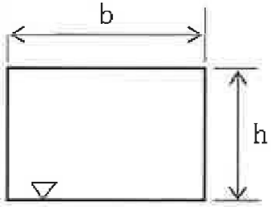
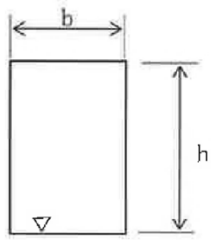
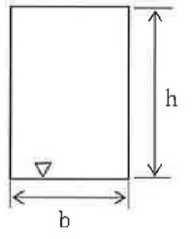
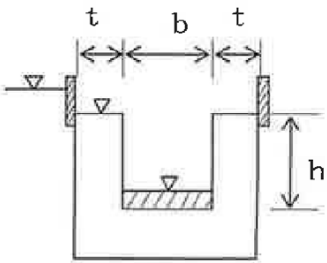
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
既製杭工	既製杭	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定する。	 <p>Diagram illustrating the measurement points for a precast pile. The pile is shown with a design (設計) and construction (施工) line. The measurement points are indicated by arrows and labels: δ (eccentricity), L (length), and a vertical line for height measurement.</p>	
		根入長 L	設計値以上			
		偏心長 δ	D/4以内かつ 100mm			
		傾斜	1/100以内			
場所打ち杭工	場所打ち杭	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定する。 杭径 (D) について、全周回転型オールケーシング工法の場合は、「設計径 (公称径) -30mm以上」とする。	 <p>Diagram illustrating the measurement points for a cast-in-place pile. The pile is shown with a design (設計) and construction (施工) line. The measurement points are indicated by arrows and labels: δ (eccentricity), D (diameter), L (length), and a vertical line for height measurement. The diagram also shows the '打設高' (driving height) and '基準高' (reference height).</p>	
		根入長 L	設計値以上			
		偏心長 δ	D/4以内かつ 100mm			
		杭径 D	設計値 (公称径) 以上			
		傾斜	1/100以内			

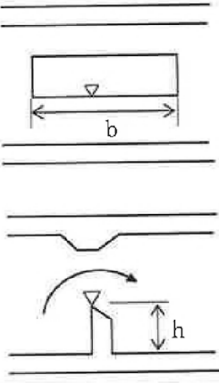
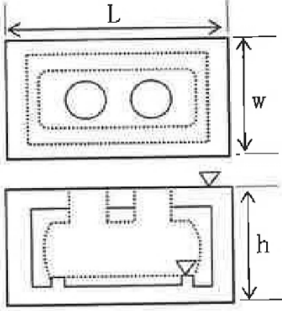
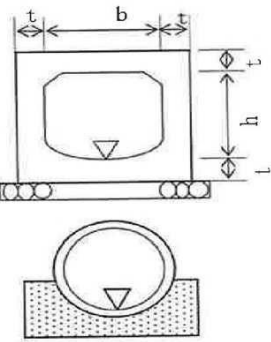
出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
ニューマチックケーソン基礎工 オープンケーソン基礎工	ケーソン基礎	基準高▽	±100	打設ロットごとに測定する。		
		長さ L	-50			
		幅 b	-50			
		高さ h	-100			
		壁厚 t	-20			
		偏心量	300以内			
躯体工	池・槽の主要構造物	基準高▽	±30	1池(又は1槽)について、図面の主要なる寸法表示箇所を測定する。		
		幅 b	±30			
		高さ h	±30			
		壁厚 t	-20			
			ただし床版厚 -10			
		長さ	±50			
躯体工	池・槽の付属構造物	基準高▽	±20	1施工箇所ごとに図面の主要なる寸法表示箇所を測定する。		
		幅 b	±20			
		高さ h	±20			
		壁厚 t	±10			
		長さ	±50			

出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
躯体工	開口部	幅 b	±20	永久開口部ごとに測定する。		
		高さ h	±20			
躯体工	ゲート用開口部	基準高▽	-20	開口部ごとに測定する。		
			+0			
		幅 b	-0			
			+20			
		高さ h	±20			
躯体工	可動せき用開口部	基準高▽	-20	開口部ごとに測定する。		
			-0			
		幅 b	+20			
		高さ h	±20			
越流樋工	流出トラフ	基準高▽	±20	基準高は、1施工箇所ごとに交差点等を測定する。		
		幅 b	±20	幅、高さは、各池の1施工箇所について3箇所測定する。		
		高さ h	-20			
		厚さ t	±20			
		長さ	±50	長さは、各池外周部の1施工箇所について測定する。		

出来形管理基準及び規格値

区分	工種	測定項目	規格値 (mm)	測定基準	測定箇所	摘要
越流堰板工	越流堰	基準高▽	±20	基準高は、中央部及び両端部を測定する。 幅・高さは、1施工箇所ごとに測定する。		
		幅 b	±20			
		高さ h	-20			
		長さ	±20			
燃料貯留槽工	燃料貯留槽工	基準高▽	±30	設計図の寸法表示箇所を測定する。		
		厚さ t	-20			
		幅 W	-30			
		高さ h	±30			
		延長 L	-50			
管布設工	流入渠・流出渠	基準高▽	±30	設計図の寸法表示箇所を測定する。		
		幅 b	-30			
		高さ h	-30			
		厚さ t	-20			
		延長 L	L < 20m : -50 L ≥ 20m : -100			